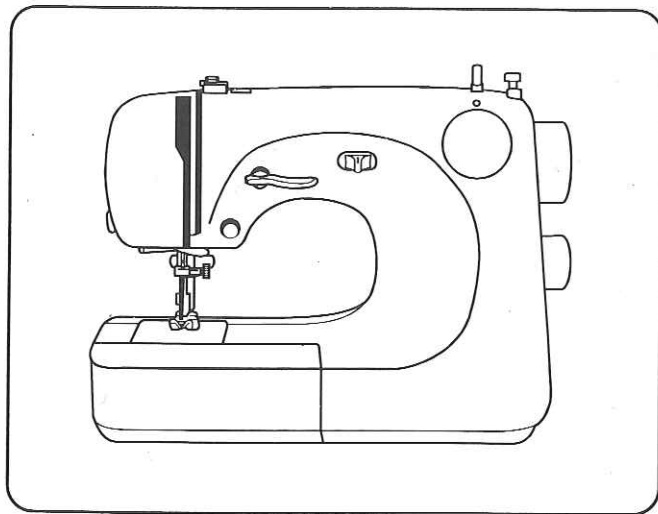




TOYOTA® Sewing & Knitting Machines by
AISIN, a Member of The TOYOTA Group.

取扱説明書

コンパクトフリーアームミシン



型式 EM4-B型


- ・ご使用前に必ず最後までお読みください。
お読みになった後、必ず保存してください。


TOYOTA

安全上のご注意（ご使用になる前に必ずお読みください）

警告表示のシグナル用語と図記号の説明

シグナル用語の説明



 **警告** 誤った取扱いをすると使用者が重傷を負う危険な状況が生じる恐れがあることを注意しています。







 **注意** 誤った取扱いをすると使用者がケガをしたり物的損害が発生する原因となることを注意しています。

図記号の説明

	高温注意	特定の条件において高温によるヤケドの可能性があることを注意しています。
	接触禁止	特定の条件において機器の特定部に触れることによって傷害が起こる可能性があることを注意しています。
	一般禁止	特定の条件において一般的な禁止を注意しています。
	分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起きる可能性がある場合の禁止を注意しています。
	一般強制	安全確保のため、おこなっていただきたいことを指示しています。
	電源プラグを抜く	故障時や落雷の可能性がある場合、電源プラグをコンセントから抜くことを指示しています。

ご使用の前にこの「安全上の注意」をよく読んで正しくお使いください。ここに示した注意事項は、状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ずお守りください。

警告	
	<p>一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。その他の電源で使用した場合、感電・火災の恐れがあります。</p>
	<p>ミシンを使用したあと、ミシンから離れる時、停電した時は、スピード切替ボタンを停止（切・■）し、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の恐れがあります。</p>

注意	
	<p>ミシンを操作する時は、すべり板、面板などカバ一類は閉じてご使用ください。ミシンの動く部分に触れてケガをする原因になります。</p>
	<p>お子様がご使用になる時や、小さなお子様の近くで使用される時は特に注意してください。急に針などに触れてケガをする原因になります。</p>
	<p>ミシンの操作中は、針から目を離さないようにしてください。針が折れてケガをする恐れがあります。</p>
	<p>針や押えを交換する時、上糸、下糸をセットする時はスピード切替ボタンを停止（切・■）してください。ミシンが動いてケガをする原因になります。</p>
	<p>ミシンの操作中、針・天びんなど動いている部分に触れないでください。ケガをする原因になります。</p>
	<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったりしないでください。電源コードが痛んで感電や火災の原因となります。</p>

目次

	ページ
A. 各部の名前と使いかた.....	1
B. 糸の準備.....	2~4
下糸の巻きかた.....	2
上糸のかけかた.....	3
下糸の入れかた.....	4
下糸の引き出しかた.....	4
C. 縫ってみましょう.....	5~10
模様選択ダイヤル.....	5
直線縫い.....	5
糸調子の合わせかた.....	6
返し縫い.....	6
ジグザグ縫い.....	7
裁ち目かがり.....	7
三点ジグザグ縫い.....	8
まつり縫い.....	8
ボタンホール縫い.....	9~10
D. 針、糸、布の組み合わせかた.....	11
E. 針のとりかえかた.....	12
正しい針の選びかた.....	12
F. ランプの交換のしかた.....	12
G. ミシンのお手入れ.....	13
注油のしかた.....	13
H. ミシンの調子が悪いとき.....	14
I. ミシンの保管方法.....	15
J. 仕様.....	15
K. 修理、サービスについて.....	16

付属品

※付属品は補助テーブルに入っています。

	ジグザグ押え (ミシンについています) (1個)		ブラシ (1個)
	ボタンホール押え (1個)		ドライバー(小) (1個)
	スプールキャップ (1個) (ミシンについています)		針板ドライバー (1個)
	プラスチックボビン(5個) (トヨタ専用樹脂ボビン)		リッパー (1個)
	針(#11-1本、# 14-2本、#16-1本)		電源コード(1個)
	糸通し (1個) (針の袋の中に入っています)		試縫い用糸 (1個) (ミシンについています)

※取扱説明書(1式) - 梱包のふたを開けると上面に入っています。

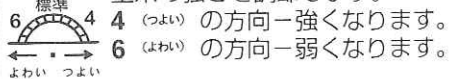
※ソフトカバー (1個)

●お客様に常に最新の縫製性能を提供するために、必要に応じてこのミシン
外觀デザイン又は付属品を変更することがあります。

A 各部の名前と使いかた

上糸調子ダイヤル

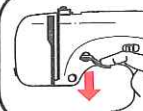
上糸の強さを調節します。



(くわしくはP.6をご覧ください。)

返し縫いレバー

レバーを下げている間は、返し縫いを行います。



スタート・ストップボタン

ボタンを押すとミシンは動き出します。もう一度押すと止まります。



スタート

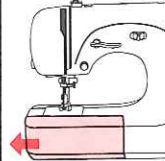
ストップ

●かまに糸がからんだりしてミシンが止まったときはP.13、14の説明に従ってください。

補助テーブル

裾・袖口などの筒物縫いのとき図のように左に引き出してください。

●内部に付属品が入っています。



はずみ車

はずみ車は必ず手前にまわしてください。

模様選択ダイヤル

模様選択ダイヤルを回して、模様を表示ダイヤルの指示点に合わせて選択します。

●回すときは必ず針を布より上にしてください。(くわしくはP.5をみてください。)

スピード切替ボタン

■ (切) ◀▶ (ゆっくり) ▶▶ (はやい)



電源コードとランプ

コードを取り出してコネクター①をターミナルボックスに差し込みます。つぎにプラグ②をコンセントに差し込みます。ランプが点灯します。

⚠ 注意

- ❗ プラグを差し込む時はスピード切替ボタンを停止(切・■)にしてください。ミシンが動いてケガをする原因になります。
- ⊘ 電源コードを抜く時はコードを引っ張らないでください。電源コードが痛み、感電・火災の原因になります。濡れた手でプラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

天びん

下糸巻装置
(下糸巻軸)

糸切り

ランプ

すべり板

針板

スプールピン

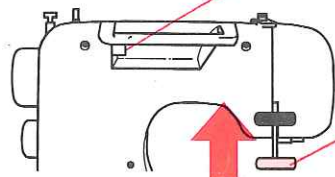
ターミナル
ボックス

プラグ②

コネクター①

押え上げレバー

押えの上げ、下げを行います。矢印方向へさらに上げますと厚い布でもスムーズに入ります。



B 糸の準備

下糸の巻きかた

⚠ 注意

- ❗ ボビンを取り出したり、セットするときは、スピード切替ボタンを停止(切・■)にしてください。ミシンが動いてケガをする原因になります。
- 🚫 下糸を巻いているときも、はずみ車は動いています。動いている部分に触れないでください。ケガをする原因になります。


1. すべり板を手前に引き出します。指を図のように差し入れ、ボビンを取り出します。

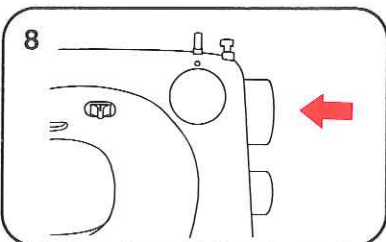
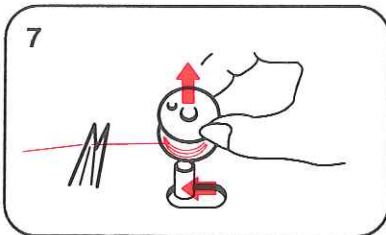
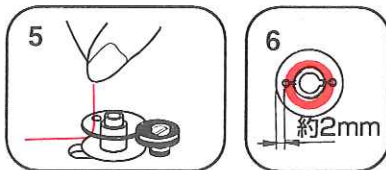
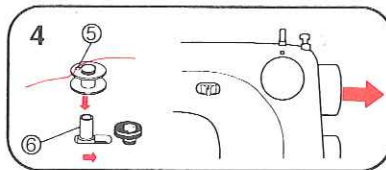
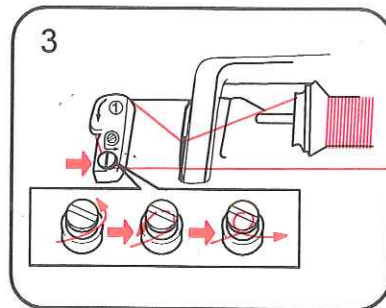
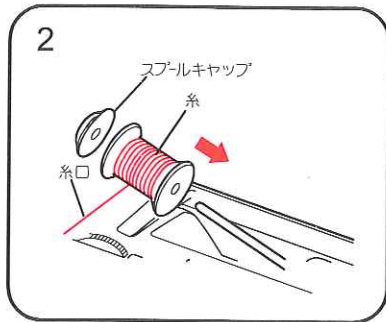
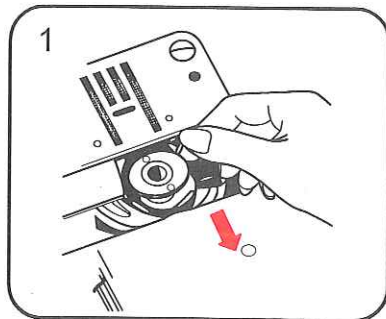
* ボビンはトヨタミシン専用の樹脂ボビンです。専用のボビン以外は使用しないでください。

2. スプールピンに糸コマを入れます。付属のスプールキャップをスプールピンに図のように差し込みます。

● スプールキャップはスプールピンに差し込んであります。

● スプールキャップを使用しないと上糸の調子がくずれ、縫い目がきれいに仕上がりません。

*  図のような糸コマは必ずこの向きでスプールピンに差し込んでください。



3. 下糸巻の際はハンドル横の糸案内へ)手前から糸を通し本体表示の○数字①～④の順に糸を掛けます。

4. 次に、ボビンの穴⑤に糸を入れ、下糸巻装置(下糸巻軸)⑥に差し込みます。下糸巻装置(下糸巻軸)を矢印方向(右)に移動させた後ははずみ車を矢印方向(右)に移動します。

5. 糸端を持って、スピード切替ボタンを▲(はやい)にしてスタート・ストップボタンを押して巻き始めます。5～6回まわして止めます。ボビン穴から出ている糸を切り、再びスタートします。

6. スピードを上げて図のように巻いたら、スタート・ストップボタンを押し、止めます。

* 巻きすぎないように注意してください。

7. ①糸を切り、②下糸巻装置を矢印方向(左)に移動させ、元の状態に戻してから、③ボビンを抜き取ってください。

8. はずみ車を矢印方向(左)に押しってください。縫いの状態にもどります。

上糸のかけかた

⚠ 注意

❗ 上糸をかけるときはスピード切替ボタンを停止（切・■）にしてください。ミシンが動いてケガをする原因になります。

* 上糸は正しくかけられていないと縫うことができません。

糸をかける前に①と②は必ず行ってください。

① 天びんに糸をかけやすくするために、はずみ車を手前に回し、天びんを最上点にします。

② ミシン内部の糸調子皿に糸を確実にかけるために押え上げレバーを上げます。

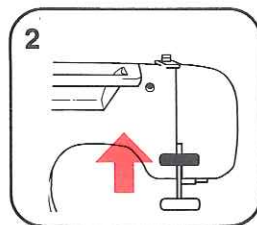
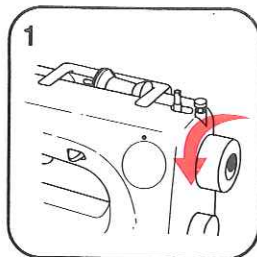
* 糸調子皿に糸がかかっているかの確認方法

上糸をかけて針に糸を通す前に押えを上げ上糸を手前に引き出す。

→ 糸がスムーズに出てくる。

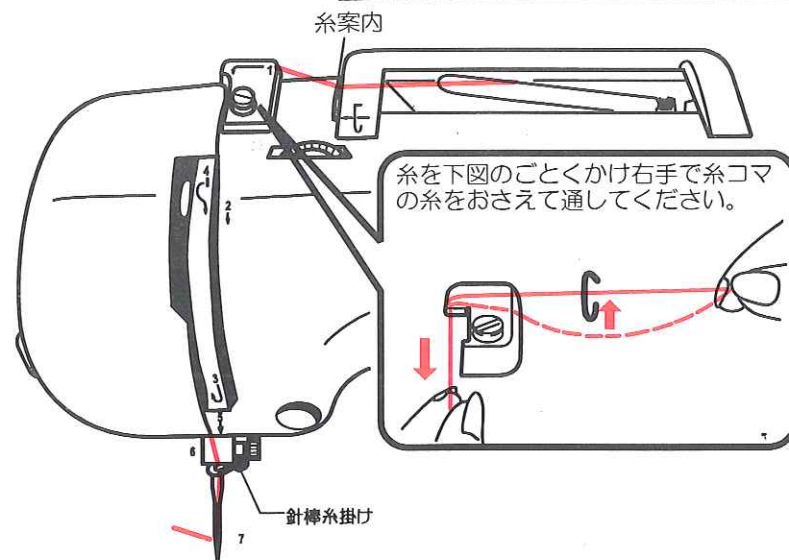
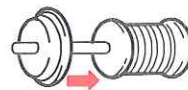
次に押えを下げ、同様に上糸を手前に引き出す。

→ 抵抗がありスムーズに糸が出てこなければ正常です。

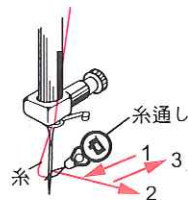


※ 上糸は正しくかけないと縫えません。糸調子皿に糸を確実にかけるために、押えを必ず上げてください。ハンドル横の糸案内へ手前から糸を通し1～6の順に糸をかけ、7の針穴に手前側から後へ糸を通します。

■ 糸コマを差しこんでから、スプールキャップを差しこみます。
※ 糸コマとスプールキャップの間を2m/m位あけます。



糸通しを使った糸の通しかた



1. 糸通しを針の後側から針穴にいれます。
2. 糸を糸通しの針金に通します。
3. 糸通しを針穴から抜くと糸が通ります。

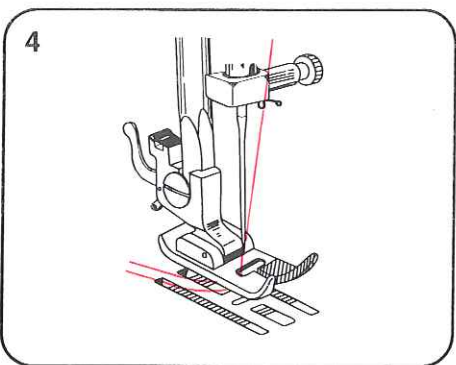
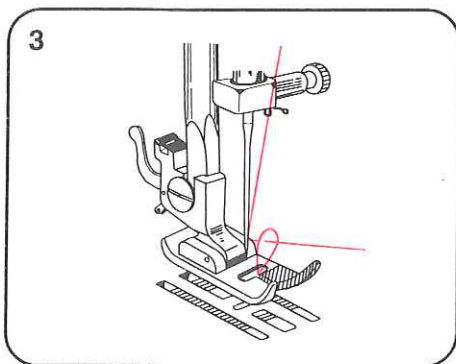
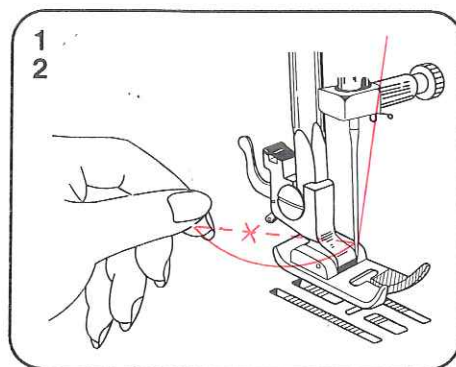
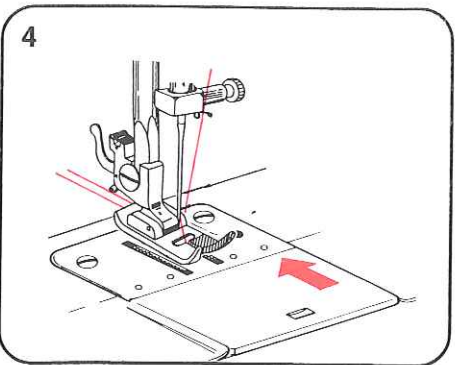
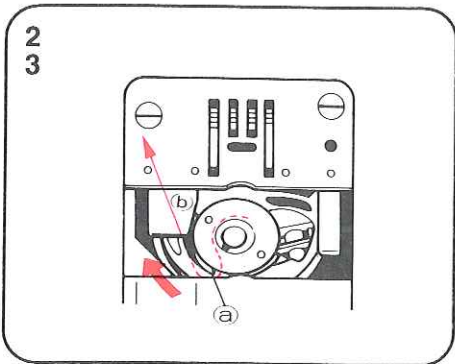
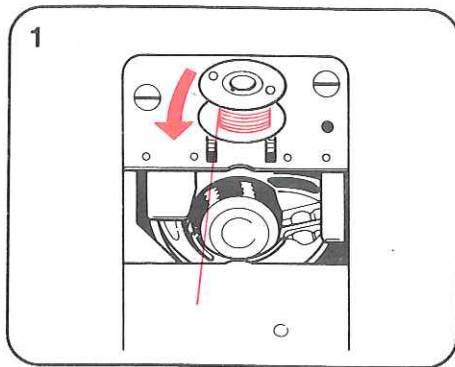
下糸の入れかた

⚠ 注意

❗ ボビンをセットするときには、スピード切替ボタンを停止（切・■）にしてください。ミシンが動いてケガをする原因になります。

* 下糸は正しくセットされないと縫えません。下記の手順で正しく入れてください。

1. 糸が矢印方向から出るようにボビンをいれます。
2. ボビンの回りの金属の部分、正面切り口①に糸を入れ、左横の②の切り口へ糸をスライドさせます。
3. ボビンが回りだすまで糸を引いてください。
4. 糸を15cm以上後方へ引き出し、すべり板を閉めます。



下糸の引き出しかた

1. 押え上げレバーを上げます。
2. 上糸の端をつまんではずみ車を手前に一回転させ、天びんが上がりきったところで止めます。はずみ車を回すときは、上糸をたるませましょう。

3. 上糸を軽く引き上げると下糸が出てきます。

* 天びんが下がっているときには、糸がかまに引っ掛かって引き出せない場合があります。

4. 上糸、下糸をそろえて押えの下から後側へ15cm程出します。

※ 糸を通したまま、はずみ車を向側に回転させますと糸がからみ、糸切れの原因になりますのではずみ車は必ず手前に回してください。

C 縫ってみましょう

模様選択ダイヤル

注意

ミシン運転中は模様選択ダイヤルを回さないでください。針が押えに当り折れてケガをする原因になります。

ダイヤルを回すときはミシンを止め、針を布より上にしてから、行ってください。針が曲がったり、針が折れて、けがをする恐れがあります。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
模様	□□□□								〰〰〰		〰〰〰		〰〰〰
名称	ボタンホール				直線縫い				ジグザグ縫い		三点ジグザグ		まったり縫い
用途	ボタン穴かがり				一般縫い				アパ裁ち目かがり ツッチウケ		縫つくりかがり		裾、袖口のまったり

直線縫い

●直線縫いを行います。

1. 模様選択ダイヤルを5から8にセットします。(直線は4種類選べます。)

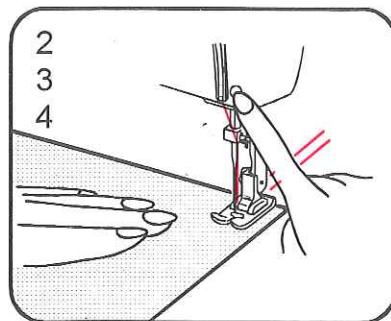
●模様の番号は指示点に合わせてください。

- 押え上げレバーを上げ、布を入れます。
- 縫いたい位置に針をおとし、押え上げレバーを下げます。
- スタート・ストップボタンを押し、縫います。

●手は軽く布に添えます。

1 指示点	No.	模様	送り量
	5		1.5mm
	6		1.5mm
	7		2.5mm
	8		4mm

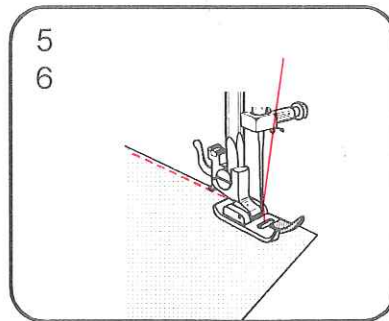
模様選択ダイヤル



注意

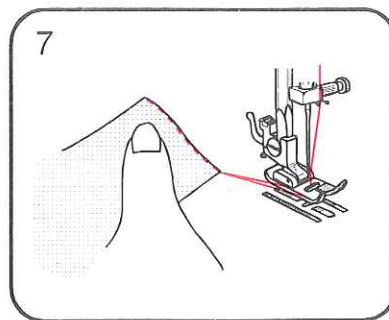
縫っているとき布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。針が折れてケガをする原因になります。

使用中、変わった音や臭いなどがしたら、ミシンを止め、電源プラグを抜いて、購入店または販売会社のお客様相談室へご連絡ください。そのまま使っていると、感電、火災、ケガの原因になります。



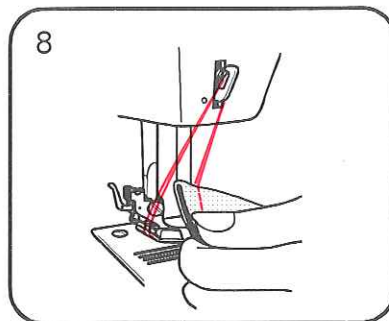
5. 縫い終わりは、もう一度スタート・ストップボタンを押し、止めます。

6. 縫い終わりましたら、針を布から上げ、押え上げレバーを上げます。



7. 布を図の方向に引き出します。

* 布が引き出しにくい場合は、天びんが上がりきったところになっているか確認してください。



8. ミシン左側にある糸切りで糸を2本揃え、下へ下げるようにして切ります。

* 厚物縫いは「針・糸・布の組み合わせ方(P.11)を参照してください。

* 段縫いはミシンを止め、押えを上げて布を少し送り込み、再度押えを下げると縫いやすくなります。

糸調子の合わせかた

このミシンは従来のミシンにくらべ、上糸と下糸のバランスの調節がとりやすくなっています。

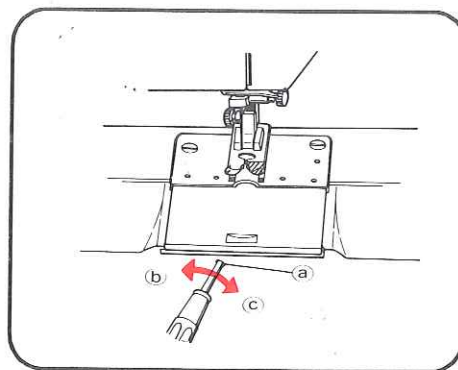
そのため、通常は標準に合わせておきます。

また、特殊な布地や糸を使用した場合も微調節ができます。

縫い目	上糸調子ダイヤル
<p>正しい縫い目</p>	<p>上糸と下糸が布の真ん中で交差して糸のたるみ、布縮みのない状態が正しい糸調子です。 *表示は数字と標準があります。</p>
<p>上糸がつれている場合</p>	<p>上糸の調子が強すぎるので、ダイヤルを←(よわい)の方向へ回し、上糸を弱くします。</p>
<p>上糸がたるんでいる場合</p>	<p>上糸の調子が弱すぎるので、ダイヤルを→(つよい)の方向へ回し、上糸を強くします。</p>

* 糸調子の合わせかたは、ためし縫いをしながら、上糸調子ダイヤルを動かして、上糸の強さを調節してください。

* 上糸が布の下に多くた場合、上糸調子皿の間に糸が入っていません。もう一度P.3を参照してください。



上糸調節だけで正しい縫い目にならない場合は下糸を調節します。

1. 補助テーブルをはずします。
2. 下糸調節ネジ用の穴◎に付属のドライバー(小)を差し込み、調節ネジに合わせます。
3. 下糸が強すぎる場合は◎方向に弱すぎる場合は◎方向に微調節します。

返し縫い

●返し縫いは、縫い始めや縫い終わりのほつれを防ぐために行います。

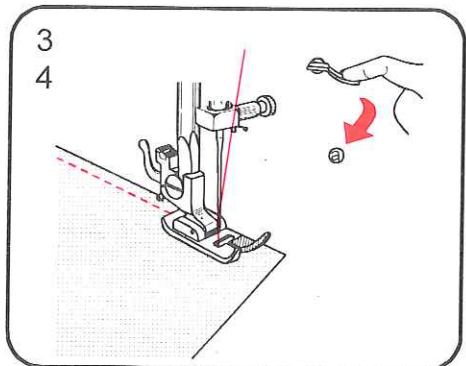
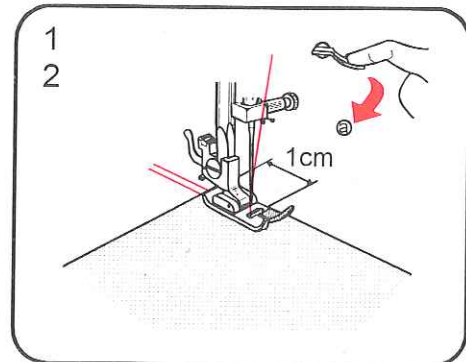
1. 縫い始めのほつれ止めをするときは、布端から1cmくらいのところに針を落としてセットします。
2. 返し縫いレバーを矢印◎の方向へいっぱい下げた状態でスタート・ストップボタンを押し、縫い始めます。

●返し縫いをする間は返し縫いレバーを下げたままにします。

3. 返し縫いレバーから指をはなすと前進縫いにもどります。

●布は手で無理に引っ張らないで縫いたいと思う方向へ案内しながら縫います。

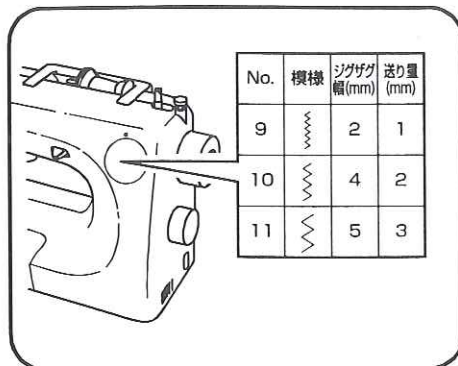
4. 縫い終わりの返し縫いレバーを下げて、3~4針返し縫いをします。



ジグザグ縫い

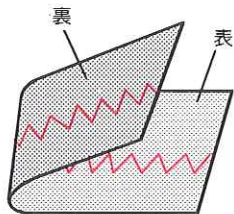
模様選択ダイヤルを9、10、11の
いづれかにセットします。

- ジグザグ幅は3種類選べます。
- 送り量は自動的にセットされま
す。
- 縫う前にためし縫いをしてくだ
さい。

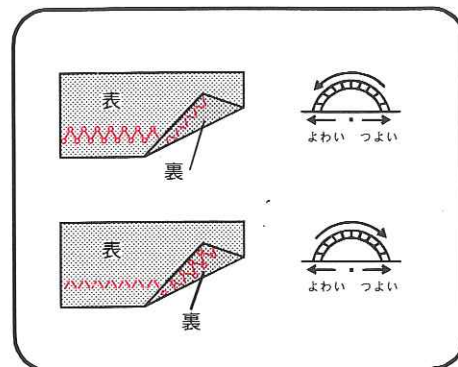


ジグザグ縫いの糸調子

上糸を少し弱くして下糸が布上に出
ないようにすると美しく仕上がります。

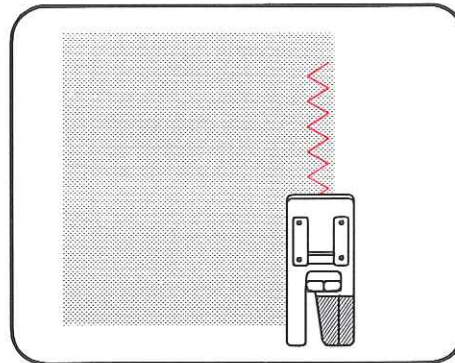
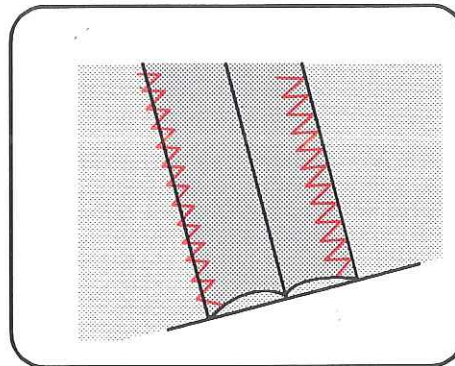


- ③ 上糸調子が強すぎる場合
上糸調節ダイヤルを← (よわい) の
方向へ回します。
- ④ 上糸調子が弱すぎる場合
上糸調節ダイヤルを→ (つよい) の
方向へ回します。



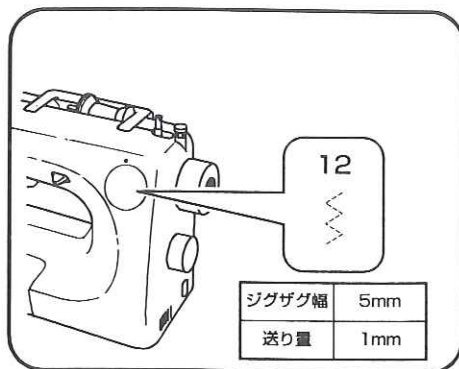
裁ち目かがり

- 布端のほつれ止めを行います。
1. 模様選択ダイヤルを10または
11にセットします。
 2. はずみ車を回して針が右側へき
たとき、布端より少しはずれる
ように布の位置を決めます。
 3. 押え上げレバーを下げ、縫いま
す。

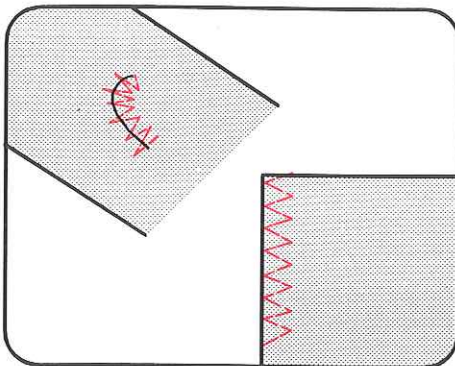


三点ジグザグ縫い

模様選択ダイヤルを12にセットします。



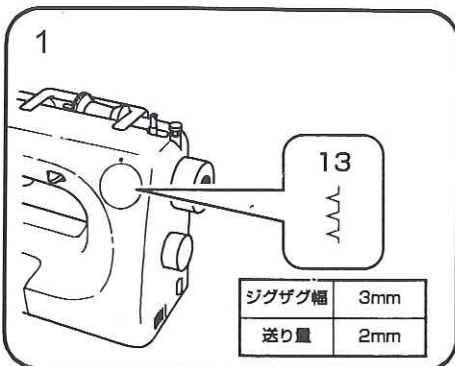
薄物、伸縮性の布地の裁ち目かかり及びつくり縫いに使用します。



まつり縫い

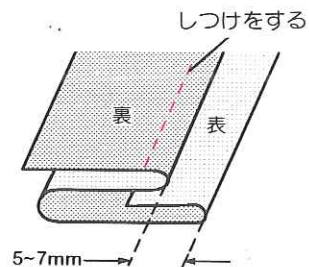
●布地の表面に目立たない縫い目を作る縫い方でズボンやスカートの裾・袖口・袋物の口などの裁縫に用います。

1. 模様選択ダイヤルを13にセットします。



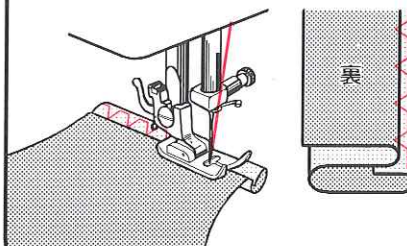
右上に続く

2



2. まず出来上がり寸法でアイロンをかけます。次に折り返し部分が5~7mm出る位で布を折り返し、しつけをします。

3

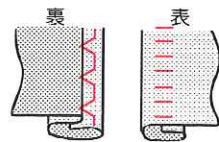


3. はすみ車をまわして針が左側へきたとき、折り山にわずかにかかる様、布の位置を決め、押えを上げて縫います。

●折り山にかかる縫い目の量が表に出ます。縫い目が多すぎたり少なすぎたりしないよう注意しましょう。

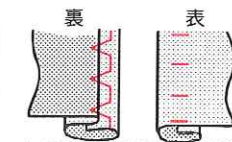
4

正しい縫い目とは・・・



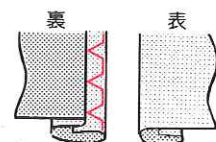
こんなときは・・・

■針が折り山にかかりすぎた場合



表側にでる縫い目が大きくなります。

■針が折り山にかからない場合



まつり縫いできていません。

4. しつけを取り、布を折り返します。

ボタンホール縫い

⚠ 注意

❗ 押えをとりかえるときは、スピード切替ボタンを停止(切・■)にしてください。ミシンが動いてケガをする原因になります。

押えのとりかえかた

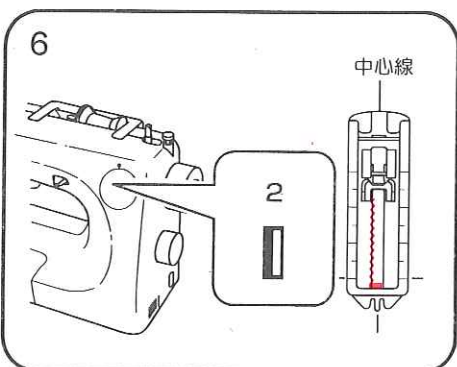
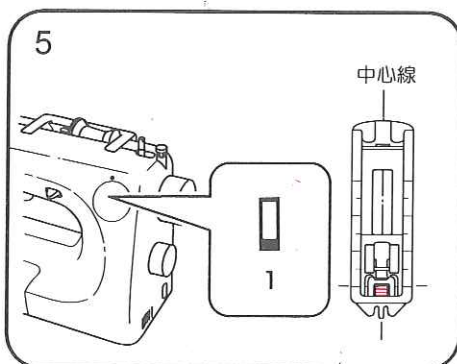
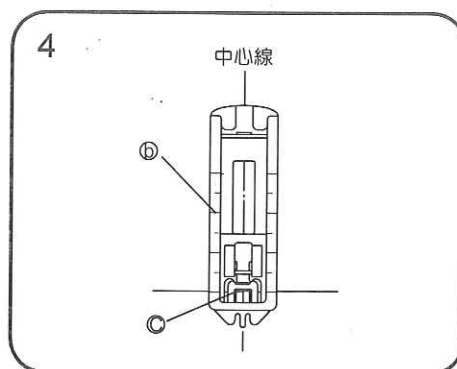
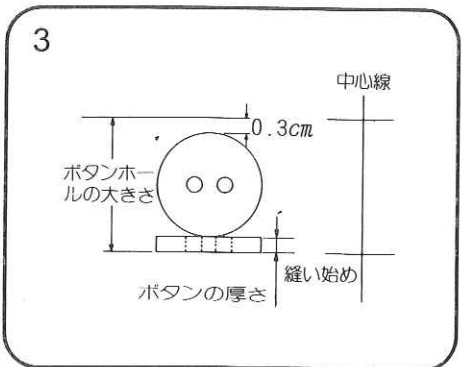
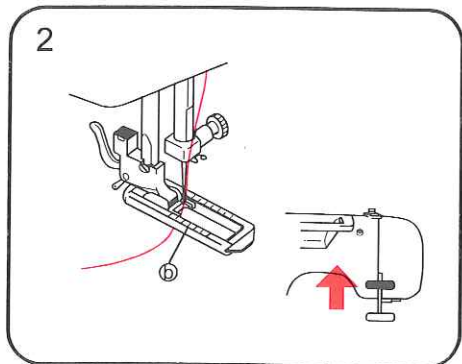
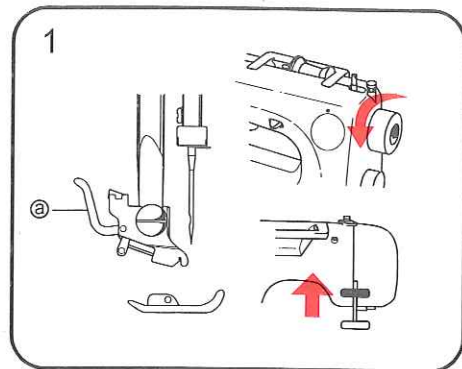
1. ジグザグ押えのはずしかた
 - 1) はずみ車を手前にまわし、針を上げ、押えレバーも上げます。
 - 2) レバー③を押すとはずれます。

2. ボタンホール押えのつけかた

- 1) 押え④のピンをみぞの真下におきます。
- 2) ゆっくりと押え上げレバーを下げるとはまります。

3. ボタンホールの大きさを決め布にしるしをつけます。

(ボタンの直径+ボタンの厚さ+0.3cm)

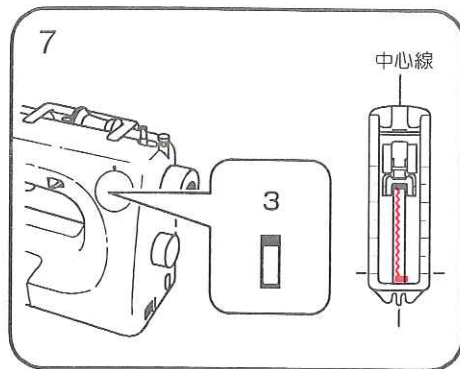


4. ボタンホール押え④を向う側へ押し縫い始めのしるしと指示線⑤とを合わせ、中心線を押えの中心にして押えを下げます。

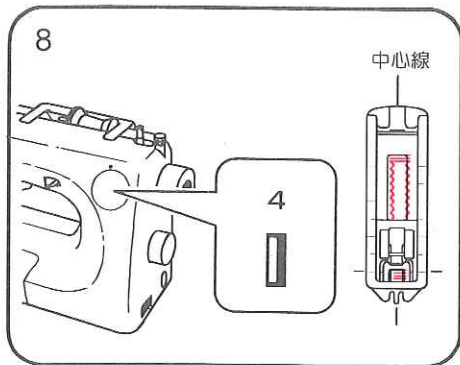
5. 針を最上点に上げダイヤルを1にセットします。かんぬき止めを5~6針縫います。

6. 針を最上点に上げダイヤルを2にセットします。左側を縫います。

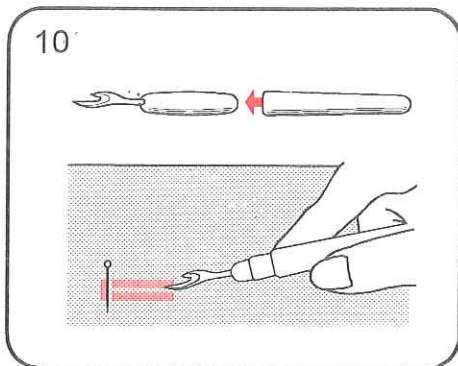
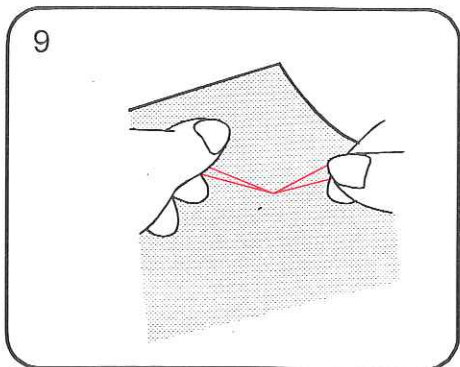
7. 針を最上点に上げ模様選択ダイヤルを3にセットします。かんぬき止めを5~6針縫います。



8. 針を最上点に上げ模様選択ダイヤルを4にセットします。右側を縫います。



9. 糸のほつれを防止するために、布をうら返して下糸をひっぱり、上糸を引き出して、しっかり結びます。



10. 縫い目を切らないように、付属のリッパーで中央を切り開きます。

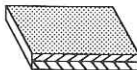
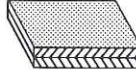
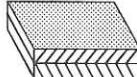
注意

リッパーで切り込みをするとき、リッパーの前で布を持たないでください。リッパーで手にケガをする原因になります。

● まち針をかんぬき部にさしておくとリッパーでの切り込みすぎを防ぎます。

D 針、糸、布の組み合わせかた

布地に合った針と糸を使用するのがきれいに縫うポイントです。
きれいに縫えないときは、下記表を参考にし、布地に合った針、糸をお選びください。

		薄物縫い	普通物縫い	厚物縫い
				
針、糸、布地の関係	針	65/9番~75/11番	75/11番~90/14番	100/16番
	糸	ポリエステル90番 綿80番~120番 絹80番	ポリエステル50番~60番 綿60番~80番 絹50番~80番	ポリエステル30番~50番 綿40番~50番 絹50番
	布地	薄物一般 裏地、ジョーゼット ローン等	木綿一般 ジャージ、リンネル、 ウール、サージ、 ギャバジン、シャーク スキン	厚物一般 キルティング地、 デニム、ツイード、 ウール、サージ等
糸調子のとりかた	上糸調子 (目安となるダイヤル 数字)	ふつうよりよわく (3)	ふつう 標準	ふつうよりややつよく (7)

* しん縮性の布地の縫い合わせのときにはボールポイント針を使用してください。

* ミシン針は家庭用 (HA-1) のミシン針をご使用ください。

E 針のとりかえかた

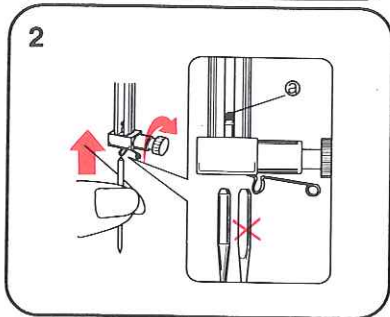
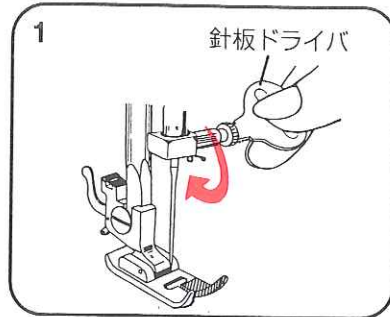
⚠ 注意

- ⚠ 針をとりかえるときは、スピード切替ボタンを停止（切・■）にしてください。ミシンが動いてケガをする原因になります。
- ⚠ 折れた針は危険です。必ず回収してください。折れた針で思わぬケガをする恐れがあります。

1. はずみ車を手前に回し針を最上点にあげ、付属の針板ドライバーで針止めネジ①をゆるめて針を抜きとります。

* 針止めネジをゆるめすぎて針止めネジがはずれないよう気をつけてください。

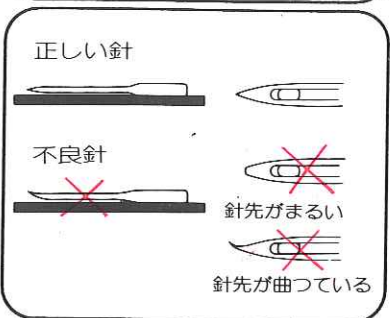
2. 新しい針の平らな面を向う側に向け、ピン②に当たるまで押し込み、針止めネジをしっかりとしめます。



正しい針の選びかた

不良の針を使いますと、よく縫えないばかりでなく、針板やかまにキズをつけたり、針を折ったりします。

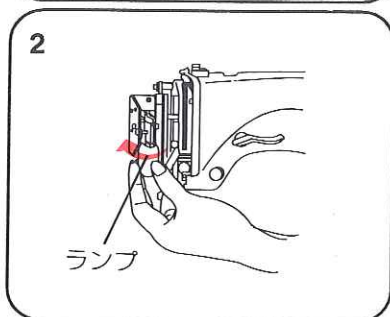
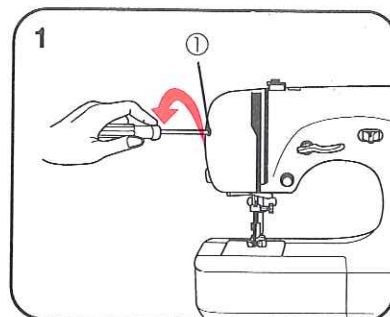
* 目とび、糸切れの場合、まず針を替えてみてください。



F ランプの交換のしかた

⚠ 注意

- ⚠ ランプを交換するときは、スピード切替ボタンを停止（切・■）し電源プラグを抜き、ランプの熱がさめてから行なってください。やけどや感電の原因となります。



1. ネジ①をお手持ちのドライバーでゆるめ面板をとりはずします。

2. ランプは左方向に回してははずします。新しいランプを右方向に回しながらねじ込みます。

* ランプは、白熱ランプ100V15W、口金E12とご指定の上、お近くの販売店又は電器店でお買い求めください。

* とりはずした面板は、必ずとりつけてから、ご使用してください。

G ミシンのお手入れ

⚠ 注意

❗ ミシンのお手入れをするときは、スピード切替ボタンを停止（切・■）し電源プラグを抜いてください。ミシンが動いてケガをする原因になります。

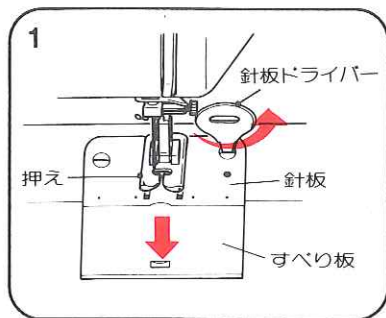
- ミシンをいつまでも調子よくお使いいただくためにお手入れを月1回行ってください。
- 本体が汚れたときは柔らかい布で水ぶきしてください。

⚠ 注意

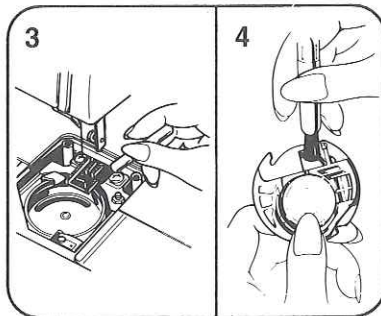
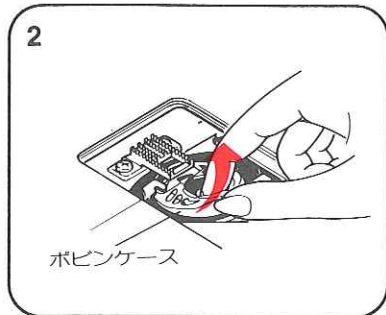
⊘ 住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナーを使用しないでください。変色したり、割れたりする原因になります。

1. 模様選択ダイヤルを5又は6にセットし天びんを最上点に上げ針をはずしすべり板を開け、押えをはずします。

- 付属の針板ドライバーで針板をはずします。

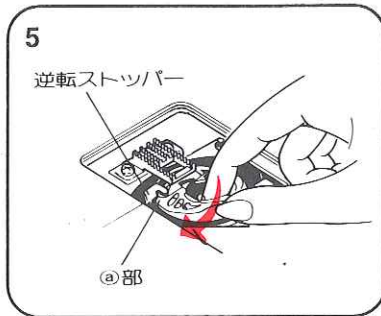


2. ボビンケースを図のように持ち上げ、右方向からはずします。



3. 送り歯の上の糸くずやほこりを手前に落とします。かまについたほこりを取り布で軽くふきます。
4. ボビンケースについたほこりや糸くずをブラシで取り、その後、布で軽くふきます。

- 掃除機を使用すると便利です。



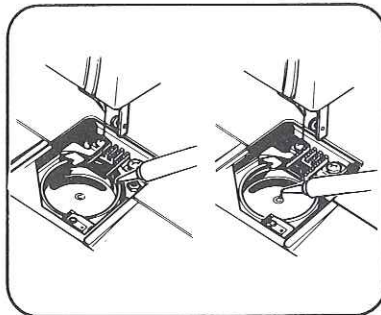
5. ボビンケースの入れかた
逆転ストッパーにボビンケースの◎部が、当たるように右方向から取りつけます。

注油のしかた

かまの摺動部、及び中央部の穴に1滴注油します。

- * 油はミシン油を使用してください。
- * 注油が多すぎますと糸やボビンが汚れたり、縫い不良などトラブルの原因となりますのでごく少量にとどめてください。

- 注油後は安心して使っていただくために汚れてもよい布で必ずためし縫いをしてください。



H ミシンの調子が悪いとき

どこが調子悪いのですか？

次のことを確かめてみましょう

●以下の原因をとりのそいでもまだ調子が悪い場合は
購入店又は保証書の販売会社へご連絡ください。

音が高い
回転しない

油がきれいている

NO

YES → P.13

かまの部分に糸くずがたまっている

NO

YES → P.13

送り歯にゴミがたまっている

YES → P.13

針がおれる

針のとりつけかたが
まちがっている

NO

YES → P.12

針が曲っている

NO

YES → P.12

針止めのネジが
ゆるんでいる

NO

YES → P.12

上糸の調子が強
すぎる

NO

YES → P.6

布地にくらべて
針が細すぎる

NO

YES → P.11

布送りがうまく
いかない

送り歯のところに糸くずがたまっている

YES → P.13

針が布にささったまま、模様選択ダイヤルを動かした

YES → P.5

上糸が切れる

上糸のかけかたが
まちがっている

NO

YES → P.3

糸が必要以外のところ
からみついている

NO

YES → P.3,4

上糸の調子が強
すぎる

NO

YES → P.6

針が曲がっている、針先
がつぶれている

NO

YES → P.12

針のとりつけかた
がまちがっている

NO

YES → P.12

下糸が切れる

ボビンケースへの下糸の入れかたがまちがっている

YES → P.4

糸が針にくらべて太すぎる又は細すぎる

YES → P.11

縫い目がとぶ

針のとりつけかたが
まちがっている

NO

YES → P.12

針が曲がっている

NO

YES → P.12

布地に対して針と糸が
あっていない

NO

YES → P.11

上糸のかけかたが
まちがっている

NO

YES → P.3

かまに油をさし
すぎた

YES → P.13

縫い目がしわになる

上糸の調子が強すぎる

NO

YES → P.6

上糸・下糸のかけかたが
まちがっている

NO

YES → P.2,3,4

布地にくらべて針が
太すぎる

NO

YES → P.11

布地にくらべて縫
い目があらずすぎる

NO

YES →

細かい縫い目で縫ってください

縫い目に輪が
できる

上糸の調子が弱すぎる

NO

YES → P.6

糸にくらべて針が適
当でない

YES

YES → P.11

I ミシンの保管方法

保管するときには、次のことに注意してください。

- ① 湿気やホコリの多い場所には置かないでください。
(故障の原因となります。)
- ② 直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
(フロントパネルや部品に悪い影響を与えます。)
- ③ 不安定な場所に置かないでください。
(落ちたり、倒れたりすると危険です。)
- ④ 逆さまや、横倒しに置かないでください。
(故障の原因となります。)
- ⑤ 油煙や湯気の当たる場所に置かないでください。
(故障の原因となります。)

J 仕様

釜タイプ	水平全回転がま
針	家庭用ミシン針 (HA-1)
ボビン	トヨタ専用樹脂ボビン
最大送り量	4mm
最大振幅	5mm
直線針基準位置	左基準・中央基準
ミシンの重さ	5.0kg
ミシンのサイズ (本体サイズ)	幅：345mm 奥行：138mm 高さ：254mm
定格電圧	100V (ボルト)
定格周波数	50-60HZ (ヘルツ)
定格消費電力 (ランプ)	60W (ワット) (15W)

K 修理、サービスについて



注意
お客様自身での修理、分解、改造はしないでください。
感電や火災・異常動作をしてケガをするなどの原因になります。

★修理サービスのご相談

1. お買い求めのミシンには、購入店（保証責任者）から1年間の無料修理保証書が発行されています。内容をお確かめのうえ大切に保存してください。
2. 修理サービスは、お買い求めのミシンを末ながくご愛用いただけるよう無料修理保証期間内および経過後も、アフターサービスに万全を期していますので、購入店へ遠慮なくご相談ください。

★修理部品の保有期間

1. 交換修理に必要な動力伝達機能部品および縫製機能部品は、通常、製造打切り後8年間を基準にして、当社において保有しています。
2. 修理部品は必要に応じて、当社より購入店に供給できるよう体制を整えております。

★無料修理保証期間経過後の修理サービス

1. 取扱説明書に基づいて、正しいご使用とお手入れがされていれば無料修理保証期間を経過しても、修理部品保有期間中は購入店を通じて有料修理サービスをいたします。

ただし、次のような場合は、有料でも修理できないときがありますので購入店へご相談ください。

- (1) 浸水、冠水、火災等、天災地変により故障または損傷したとき。
- (2) お買い求め後の移転または、輸送によって故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたって使用された場合、アフターサービスに万全を期しましても、新品同様の性能までに修理できないことがあります。
3. 有料サービスの場合の費用は、必要部品代、出張修理の場合は出張費、ミシン送付修理の場合は往復の送料、および購入店が別に定める技術料の合計額になります。

アイシン家庭用機器販売株式会社

〒450 名古屋市中村区名駅4丁目11番27号

☎ (052) 582-8501

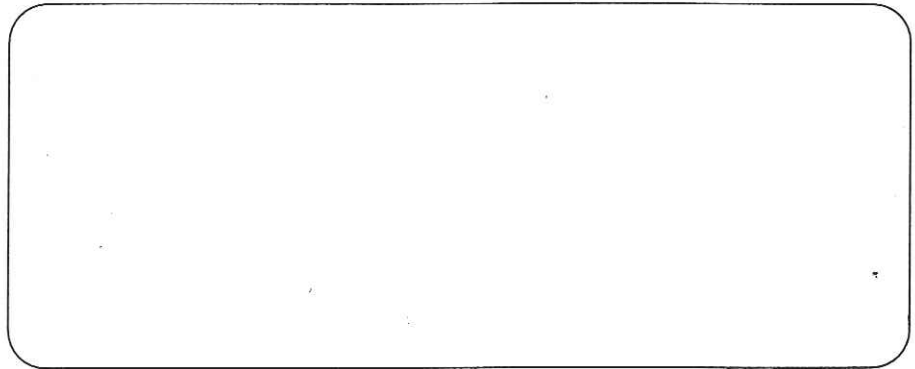
ファクシミリ (052) 582-5910

アイシン精機株式会社

〒448 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

☎フリーダイヤル 0120-24-8640

ファクシミリ 0566-24-9530



2011009-111-A

EM4-B TYPE MADE in Taiwan